

コンテンツ強化専門調査会（第9回） における主な意見

1. デジタル・ネットワーク社会の先端を切り拓く国となる

- 震災では、インターネットが最も頼りとなる情報流通手段であった。クラウド技術はデータの保管リスクを下げることから整備が必要。

2. クールジャパンを推進する

- 海外では日本全体が危険と誤解されており、日本が普通に動いていることを積極的にアピールすることが必要。震災直後の混乱が収まりつつある今は、映画祭といったさまざまなイベントにおいて、できるだけ明るく希望のもてるようなポジティブなメッセージを発信していくことが必要。
- 過度な自粛は必ずしも良いわけではなく、どこかの時点で正常に近づけるような切換えが必要。
- 情報を発信する際は、SNS（ソーシャルネットワークキングサービス）などを効果的に利用するなど戦略的に行うことが必要。
- 震災に際し、海外では日本人の我慢強さなどの精神性が注目されたが、むしろ日本からは正確な復旧情報や具体的な姿を発信すべき。
- 被災地の復興には、特区といった具体的な施策が必要ではないか。
- 韓国は、政府が全面的に支援していることもあり、以前にも増して勢いがある。日本も国として戦略的に放送番組の海外展開を支援すべきではないか。

（以上）